

# 平成29年度 学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。 2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かして自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。 3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<b>【現状】</b> ・生徒は意欲的に学習に取り組んでいるが、基礎学力に課題を抱える生徒もいる。一方で意識の高い意欲的な生徒もいるため、生徒一人ひとりを伸ばす学習環境の整備が求められている。 <b>【課題】</b> ・「わかる授業」の展開について生徒・保護者の満足度は高いが、家庭学習の定着と成績上位者の学力をさらに伸ばすための取組みが必要である。	○学びの質の向上を目指す。  ○より魅力的な学習環境の整備を推進する。	①授業改善のための「授業アンケート」の実施 ②アクティブラーニングについて各教科で研究 ③授業公開の充実と授業力向上を目指した研究協議会を開催 ④授業でのICT機器の活用を推進 ⑤資格取得の奨励 ⑥家庭学習を推進する取組を実施	①授業アンケートでの生徒・保護者の授業満足度 ②研究・研修の実施状況、生徒・保護者の授業(教科指導)に対する満足度 ③各教科での授業研究の状況 ④授業におけるICTの活用率 ⑤検定試験の受験者数及び合格率 ⑥家庭学習時間の増加		
2	<b>【現状】</b> ・生徒は目標実現を目指して努力しているが、進路に対する意識が低い生徒もいる。生徒一人一人を伸ばす、きめ細やかな生徒指導及び進路指導が求められている。 <b>【課題】</b> ・2、3年生の部活動加入率が低い。部活動を活性化させ、生徒の活躍の場を広げたい。 ・進路未定者が年々減少しつつあり、進路指導の充実を伺えるが、「進路の手引き」を学校全体で活用するなど、より効率的な指導体制を整備する必要がある。	○規律ある学校生活を通して、豊かな心と健やかな体を育成する。  ○進路意識の向上と進路実現を図る進路指導を学校全体で行う	①「授業5原則」、「学校生活三カ条」を学校全体で徹底 ②教育相談体制を整備するとともに、様々な課題をもつ生徒に対するケアの充実 ③部活動加入率上昇、活動の活性化 ④外部専門家と連携した支援体制の構築	①「授業5原則」にきちんと取り組む生徒の割合と「学校生活三カ条」を心掛けている生徒の割合 ②SCの新たな活用方法の提案 ③部活動に積極的に参加する生徒の割合、各種大会等への実績向上 ④「合理的配慮」を検討する委員会の設置		
3	<b>【現状】</b> ・HPや広報紙等による情報発信、美術科の作品展示などにより、学校と家庭・地域との連携を進めている。 <b>【課題】</b> ・学校の発信力を高め、「開かれた学校づくり」を更に推進する必要がある	○家庭・地域との連携をさらに充実させる。  ○HPや広報紙等を活用した情報発信に努め、中学生に対して本校の魅力を発信する。	①メールシステムを活用したPTA活動の周知と行事への参加呼びかけ ②学校公開講座の実施 ③地域主催のボランティア活動への参加	①一斉送信メールの定期的な活用 ②学校公開講座参加者数の増加 ③地域ボランティアへの参加生徒の増加		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	